

みかえり

塩原溪谷遊歩道

回顧コース

■行程 約3.3km

■所要時間 片道約2時間

【最寄りのバス停】

- 猿岩駐車場…JRバス塩原本線「塩原大綱」下車徒歩8分(約500m)
- 回顧橋側(墓石園地)入口…JRバス塩原本線「回顧橋」下車徒歩すぐ



コース概要

猿岩駐車場から歩道は国道400号のはるか下を流れる箒川へと降りていきます。巨石が並び青い淵が口を開けている箒川渓谷を見ながら「留春の吊橋」を渡り「留春の滝」から坂道を登りつめると、しばらくして沢に出ます。その沢からモミの木の大木が多く自生する中を石段の急斜面が続きます。登りつめて行き、振り返れば眼下に大綱を見下ろすことができます。アカヤシオ・シロヤシオの群生する尾根に出るとコースのほぼ中間地点になり、このコース上で標高が一番高い展望台にでます。景色を見ながら、休憩をとるのに最適な場所です。展望台をすぎると歩道は徐々に下って行きます。カラマツ林・植林林をぬけると今度は、アスナロ・モミの大木が立ち並び尾根筋を下ります。途中から「回顧の滝」・「塩原ダム」の姿を見ることができます。渓谷遊歩道のラストを飾るにふさわしい「回顧の吊橋」を渡り墓石(がまいし)園地へ。急な登り・下りのある健脚向けコースで、登山気分を味わえます。体力に自信のない方は墓石園地から回顧の吊橋を渡り、観瀑台で回顧の滝を見るだけでも充分自然と渓谷美を楽しむことができます。

みどころ

【留春の滝】・【留春の吊橋】

この滝は、冬の3ヶ月間水が涸れ、晩春の頃から水を得て滝となったことから、この名が付けられました。現在は水がなくなることはないようですが、そのひそやかな流れはその名のとおり春を留めていてくれるようです。また、留春の吊橋(全長20m)から見る箒川の渓谷美は四季をとおして美しい姿をみることができます。

【回顧の滝】

回顧の吊橋を渡ると、観瀑台から水晶のすだれを垂れたような滝を眺めることができます。約55mの落差を持つこの滝は、塩原十名瀑の1つであり、尾崎紅葉の「金色夜叉」の中に「回顧橋は三十余丈の飛瀑を踏み、山中の景は始めて奇なり」と書かれています。

【回顧の吊橋】

昭和62年(1987年)に完成した全長100m・高さ約30mの吊り橋です。数多くある塩原の吊り橋の中でもその高さで眺めは随一です。遠く、もみじ谷大吊橋を眺めることができます。

【大綱地区】「由緒ある温泉を守る一軒宿」

平安時代から熱い温泉が川筋に湧き出していたとされ、今も約300段の階段を下りた箒川河畔には岩から湧き出る、野趣豊かな露天風呂があります。泉質の良さは折り紙付で、塩原で飲泉第1号として認められた温泉です。川を遡上してきた魚が滝に妨げられ、大綱を仕掛けたように魚が捕れたことから大綱の地名がつけられました。